

愛に生き

真に生き

美に生きる

深川市立一已中学校 学校だより 10/31

発行者：深川市立一已中学校 電話：0164-22-3341 FAX：0164-22-3653

<http://ed.city.fukagawa.hokkaido.jp/ichiyan-jh/index.html>

スクリーンタイムを制限し代わりに別なことをしよう

校長 坂本 征人

1日のスクリーンタイムは何分までならいいのでしょうか？なかなか設定するのは難しいかもしれません。ちなみに大人も子供も仕事や勉強以外でスマホ、他のスクリーンに費やしているのは2時間程度だと言われています。自宅に帰ってきて、食事、睡眠、お風呂…と考えると、帰宅してからの約1/3程の時間を費やしていることになるのでしょうか。ちなみに、アップル社創業者であるスティーブ・ジョブズ氏は「自分の子どもたちがデジタル機器を使う時間を制限している」と言っていました。当然ですが使い放題、見放題ではいけないということです。

また、ゲームやSNSの利用だけでなく、せっかく便利なツールがあるのですから、情報を集めてみるのはいかがでしょうか。たとえば、私たちが住む深川や空知にどのような高校があって、どんな勉強をしているのか知っていますか？北海道、いや全国にどれくらいの会社があって、どんな仕事をしているのか知っていますか？私たちの「やりたいこと」というのは知っていることの中からしか生まれません。新しいことを知り、自分のキャリアの可能性を広げることが大切だと思います。

時間は限られています。私がいいと思うのは、帰宅してからの時間の使い方をルーティン化することです。テレビを見る、ゲームをする、勉強をする、運動をする（どんな運動も脳によいといわれています たとえそれが散歩程度の運動でも）、読書するなど、それに集中する時間を決めることです。テストが近くなり、勉強しようと「やる気スイッチ」をオンにしたとしても、それは一過性のものでなかなか継続しません。

何にどれくらい時間をかけるのか、後期になったことを機会に、自分の生活を見直してみるのはどうでしょう。



1日 (火)	生徒総会
2日 (水)	公開授業研究会
4日 (金)	漢字検定
10日 (木)	学力テスト
18日 (金)	後期中間テスト
22日 (火)	委局・代議
24日～	3年生三者面談
30日 (水)	3年生放課後教室
4日・24日	スクールカウンセラー相談日



本校のよさを生かし、さらに充実・発展させるために

生徒質問紙から見る全国・学力学習状況調査

本校は、学力向上の取り組みを通して授業改善に取り組み、教科に関する調査で安定した成果を示しています。生徒質問紙から本校の教育環境や学習指導の状況等について分析しましたので、今後の取り組みとあわせてお知らせします。

一人ひとりの学力を伸ばす一己中学校 ～ 3つのエッセンス ～

① 生徒が安心して学習できる環境づくり

生徒質問紙では、「自分にはよいところがある」「将来の夢や希望を持っている」「学校に行くのが楽しい」「学級生活をよりよくするために話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めている」などについて、肯定的な生徒が多いのが特徴です。これは、生徒が前向きで真摯な姿勢であることはもちろんですが、生徒のよさや可能性を積極的に評価して、自己有用感をもたせようと工夫を凝らしている本校のきめ細やかで温かな学習環境づくりが生み出していると考えています。

② 生徒の思考を促し深める探究型の授業づくり

本校では、他者との関わりを授業内で設定し、対話を通して主体的に問題を解決する探究型の授業を行っています。生徒質問紙では「友達と協力するのは楽しい」「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」などについて、肯定的な生徒が増えています。今後も「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進め、生徒一人ひとりの学びの質を高めていきます。

③ 豊かな教育力を生む学校・家庭・地域の強い連携

学校・家庭・地域等のオール一己でつくってきた教育環境が、本校の強みです。生徒の授業に向かう姿勢や家庭生活の充実なども関わりがあります。今年度の生徒質問紙では、**普段(平日)**における**家庭学習時間に大きな改善**が見られました。本校では、学校から家庭や地域へ働きかけ・呼びかけが丁寧に行われており、学校・家庭・地域の豊かな連携を生み出しています。

